100号 Anniversary Issue (令和3年10月)

SAKAI PORT TRADE PROMOTION ASSOCIATION

境港ニュース

発行 境港貿易振興会 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3 TEL (0859) 47-3905 / FAX (0859) 47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp URL http://www.sakaiminato-faz.co.jp/

全国へ向けてPR!!

境港利用促進懇談会を開催しました

- 日にち 令和3年8月27日(金)
- 時 間 13：30～15：10

国際貿易港"境港(さかいこう)"をより多くの方に知っていただくため、毎年、境港利用促進懇談会を開催しております。今回、境港湾が一望できる地元「鳥取県境港市」で来場方式と、また併せてどこからでもご参加いただけるWEB配信方式での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、**WEB配信のみでの開催**といたしました。

＜伊達会長＞

今回の利用促進懇談会では、境港や釜山港の概況説明、取扱いサービスや境港の実例紹介などインターネットを通じて全国の皆さまに発信しました。

伊達会長（境港市長）はあいさつの中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当初の予定を変更しWEB配信のみでの開催となったことを説明。また、令和4年度に国際コンテナターミナルに大型船舶にも対応可能な"ガントリークレーン"が一基増設されることについて報告し「境港の一層の機能強化が図られる。本会を通じて、境港への理解を深めていただき、利用をご検討いただきたい」と呼び掛けました。

『境港利用促進懇談会』の概要は以下のとおりです。

講　演

講師 国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所 所長 **新見 健吾 氏**

演題 **「海上物流を取り巻く最近の状況及び今後の港湾政策の見通し」**

主な説明内容

＜新見所長＞

- コンテナ不足の主な原因は以下の4点
  ①コロナ以前からの新造コンテナ生産量の低下
  ②アジア発北米向け貨物の急増
  ③港湾作業員不足によるコンテナ処理能力の低下
  ④欧米での空コンテナ滞留により、アジアにコンテナ回送されない
  国としては、コンテナ不足改善に向けた対策を検討中。
- 国土交通省では今年2月に中国地域港湾の将来像を掲げた中長期構想を策定。
- 境港において、バイオマス発電所新設に伴う燃料の取扱機能強化や内航RORO船定期航路化、代替港としての港湾整備などが進められており、国土交通省としても実現に向け取り組んでいく。
- 境港は"水産品の輸出"が今後のキーワードになると考えおり、農林水産省とも連携して支援していきたい。

講　演

講師 釜山港湾公社 日本代表部 代表 **李 洙澈 氏**

演題 **「釜山港のメリット及び発展戦略」**

主な説明内容

＜李代表＞

- 2020年の釜山港でのコンテナ取扱量は約2,180万TEUで世界7位だが、トランシップ貨物の取扱量は約12,014万TEUとなり、シンガポールに次ぐ世界第2位の実績。
- 釜山港のメリットは、地理的優位性、優れた連携性、大水深、安定的な港湾運営。日本全体での輸出入貨物の約1割が釜山港を経由。
- 世界的な物流混乱により、今年5月まで混雑していたが現在は改善傾向。日本向けトランシップ貨物は平常時同様3日以内に対応可能。

～サービス・実例紹介～

サービス紹介の中で、「輸出入・物流一貫サービス」の流れをわかりやすく動画で説明。参加者から好評をいただきました。

＜サービス紹介:境港海陸運送株式会社＞

＜荷役風景の動画の一部＞

＜実例紹介:株式会社ゴール米子工場＞

境港利用をされている荷主企業の声として、株式会社ゴール米子工場 工場長 岡田知貴様に実例紹介をしていただきました。

次ページに実例紹介の主な内容を掲載しております。

今回の利用促進懇談会は、WEB配信のみでの開催となりましたが、県内外の方にご視聴いただきました。ご視聴いただいた方からは「コロナ禍が物流に与える影響について勉強になった」「実例紹介が具体的で分かりやすく良かった」や「色々な情報が入手できるため、このような機会には積極的に参加したい」などの声が聞かれました。

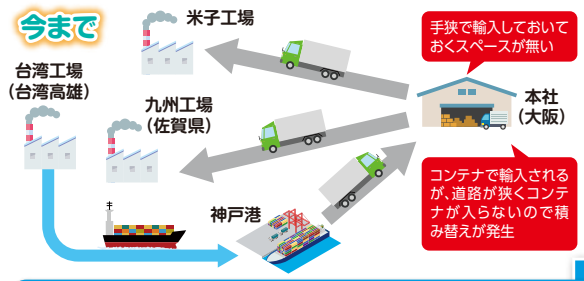
当会としましては、利用促進懇談会は境港をアピールする重要な機会だと考えております。新型コロナウイルスの影響はありますが、ニーズにあった開催方法を検討し、引き続き利用促進活動に取り組んで参ります。

～境港利用促進懇談会での実例紹介～

株式会社ゴール米子工場

株式会社ゴール米子工場 様（鳥取県米子市）は、1914年創業以来100年以上にわたり、住宅向けの錠前の設計・製造・販売をされる株式会社ゴール（本社：大阪市）の生産工場として1967年に設立され、鍵のシリンダー部品を製造し各工場に供給されておられます。

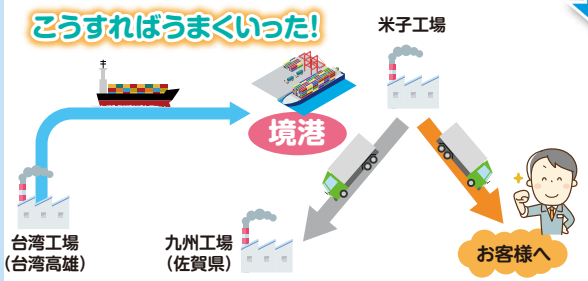
今回、境港利用の実例としてご発表いただいた主な内容をご紹介します。



困りごと

- ■神戸港から大阪本社までの運賃が高い
- ■本社倉庫に入るまでの道路が狭くコンテナが入らないため積み替えが発生
- ■本社倉庫が手狭で余分なスペースがない
- ■本社から米子工場までの配送も手間とお金がかかる

2018年の米子工場移転をきっかけに　境港利用　に振り替え



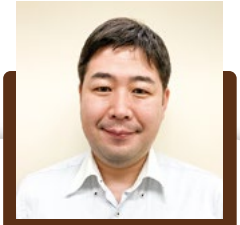
境港利用のメリット

- ●運送コストが減った
- ●場所の問題が一気に解決できた
- ●陸送のリードタイムの短縮（積み替えなし、転送もスムーズ）

海上輸送のリードタイム増加などデメリットはあるが**全体の流れを見直すことにより、輸入してからお客様に届くまでの流れがシンプルになり今までの困りごとが解決できた。**

関係機関ニュース　ジェトロ鳥取に新しい所長が着任されました

日本貿易振興機構（ジェトロ）の人事異動により、令和3年7月26日付けで鳥取貿易情報センターに川上康祐氏が新たに所長として着任されました。川上所長には、境港貿易振興会の顧問に就任していただいており、コメントをいただきました。



ジェトロ
鳥取貿易情報センター
所長　川上 康祐氏

ご挨拶と自己紹介

7月26日に鳥取に着任いたしました川上です。出身は栃木県ですが、父の転勤により長らく滋賀県に住んでいたこともあり、鳥取には家族旅行をした思い出があります。鳥取砂丘でラクダに乗ったり、大山でスキーをしたりして楽しんだ記憶があります。この度は旅行とは違う形ではありますが、また鳥取に来られたことは何かのご縁だと思いますので、県内を色々回り皆様のお役に立ちたいと思います。

境港について

日本海側に位置する境港は、極東ロシアや韓国、中国などへのアクセスが良いこともあり、現地経済や市場の拡大を背景に日本側の窓口としての重要性が増しております。また、ビジネスのグローバル化が進む中、さらなる境港の発展が期待されます。

2020年はコロナ禍の影響もあり、世界経済は減速しましたが、今後の経済活動の回復に伴い、貿易をはじめとする海外とのビジネス交流もさらに進むものと思われます。そのため、当事務所は引き続き地域の一員として、力を尽くす所存です。

海外のよろず相談のジェトロ

ジェトロでは、ホームページで海外ビジネスや市場情報を提供すると共に、日本国内はもとよりアジアや欧米といった海外との商談会のサポートを行っております。当事務所が毎月発信しているメールマガジンでは、山陰地域でジェトロが開催するビジネスセミナーやオンライン商談会、貿易実務講座の案内をしています。

さらに、輸出や海外進出に関する個別のご相談は、東京や海外事務所（55カ国　76事務所）を通じて、皆様のサポートさせていただいております。

また、海外ビジネスを進めていくにはそれを支える人材が必要不可欠であります。来日している外国人留学生など高度外国人材の活用についても、人材の発掘から、採用、入管手続き、採用後のマネージメントなどそれぞれのお悩み状況に応じ、各専門家が対応いたしますのでお気軽にジェトロにご相談下さい。

ジェトロ鳥取事務所は総勢4名の小所帯ですが、ジェトロの持つ海外事務所や市場·実務·法務などの専門家集団とのネットワークに加え、鳥取県などの行政や地元商工会議所、銀行などと連携したサポートが強みです。輸出入の貿易相談から海外進出まで海外ビジネスについて遠慮なくお問い合わせ下さい。

よろしくお願いいたします。

ジェトロ鳥取貿易情報センター　TEL：0857-52-4335

境港管理組合からのお知らせ

敦賀港ー境港ー博多港 内航 RORO 船試験輸送を実施しました

境港管理組合では、①物流の効率化による山陰地方の産業競争力の強化、②モーダルシフトによるトラックドライバー不足やCO2削減への対応、③大規模災害時の海上輸送におけるリダンダンシー（多重性、補完性）の確保等に資するため、内航RORO船の定期航路化による日本海側航路拡充の取り組みを進めています。

平成31年には、荷主企業、物流企業、行政機関で構成する「境港内航RORO開設推進協議会」を設立し、定期化に向けた課題等を把握、対応策等を検討するため内航RORO船試験輸送等の取り組みを行っており、今年6月と7月に、敦賀港ー博多港間の既存内航RORO船航路の境港への途中寄港による試験輸送を実施しました。

境港寄港日	運行経路	主な試験輸送貨物
6月27日（日）	博多港➡境港➡敦賀港	肥料、合板、産業廃棄物　等
7月11日（日）	敦賀港➡境港➡博多港	合板、洋紙、水、農機具、産業廃棄物　等

＜記念セレモニーの様子＞

6月27日にはRORO船の運航者である近海郵船株式会社や荷主企業、その他関係者の皆様をお招きし、RORO船「とかち」の境夢みなとターミナルへの寄港に合わせて、記念セレモニーを行いました。

試験輸送で、境港から敦賀、博多方面への貨物は一定程度確認できたものの、境港向けの貨物量の少なさや、このことに起因したRORO船特有の輸送機材（シャーシ）回送に係るコスト等、定期化に向けた課題が把握できた一方で、7月と8月に日本各地を襲った豪雨災害による陸上輸送ルートの寸断を踏まえ、早期の日本海側海上輸送ルート構築を望む声も聴かれました。

＜7月11日の試験輸送の様子＞

日本海側の海上輸送航路の拡充は、高速道路等の社会資本整備と同様、山陰地域の産業競争力強化や持続的発展には必要不可欠であり、日本海側の定期試験輸送の実施等により得られた課題を踏まえ、「境港内航RORO開設推進協議会」等を通じてRORO船定期航路化に向けた対応策をとりまとめ、各関係機関が取り組む予定としています。

境港貿易振興会が発行しております、境港に関する様々な情報等を皆さまにお伝えする『境港ニュース』。平成8年11月に創刊し、25年にわたって皆さまの元へお届けしてまいりましたが、本号にて第100号という節目を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご協力によるものと感謝しております。

創刊号では、白黒印刷A4サイズ4ページ構成で、振興会会長（当時の鳥取県知事）のあいさつに始まり、振興会からのお知らせ、航路情報といった内容を掲載していました。現在でも、創刊号と変わらず基本はA4サイズ4ページ構成で、最新の境港に関する情報などを掲載しております。皆さまに情報がより伝わりやすくなるようにと、第24号（発行:平成15年3月）よりカラー印刷となり、その後イラストを交えての記事にするなど、読みやすい誌面になるように心がけて毎号作成しております。

これからも、本ニュースでは当会が実施しております助成制度や利用促進懇談会のご案内のほか、境港の最新情報や航路に関する話題などを発信して参ります。過去発行した境港ニュースのバックナンバーを第43号（発行:平成19年11月）からとはなりますが、境港貿易振興会ホームページに掲載しておりますので、お時間のある時にでもぜひご覧ください。

今後とも『境港ニュース』ならびに境港貿易振興会をよろしくお願いいたします。

境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

（2021 年 9 月現在）

定期船寄港日・運航船社

月		火	木	金	土
中　国 神原汽船㈱	韓国･中国 高麗海運㈱ 南星海運㈱ ※協調配船	韓　国 高麗海運㈱	韓　国 興亜LINE㈱ 長錦商船㈱ ※協調配船	韓　国 高麗海運㈱	韓　国 興亜LINE㈱ 長錦商船㈱ ※協調配船

★釜山・上海トランシップにより、東南アジア・中国各港および欧米等世界各地への接続も可能です。詳しくは各境港代理店までお問い合わせください。
★上海トランシップにより、台湾発着サービス展開中。

当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。**http://www.sakaiminato-faz.co.jp/**

具体的な見積り等についてのお問い合せ先　～通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業～

企　業　名	業　　務	連　絡　先
境港海陸運送 株式会社 （神原汽船㈱、高麗海運㈱、長錦商船㈱、南星海運㈱ 境港代理店）	荷役　通関　保管　運送	TEL 0859-44-1652 http://sakaiminato-kairiku.com/
株式会社 上組 境港支店 （興亜LINE㈱ 境港代理店）	荷役　通関　保管　運送	TEL 0859-45-8707 http://www.kamigumi.co.jp/
株式会社 ミック 米子営業所	通関　保管　運送	TEL 0859-37-6771 http://www.mikcorp.com/
株式会社 ニューウェーブ インターナショナル	貨物集荷代理店	TEL 0859-38-1150 http://www.new-wave-int.jp/
株式会社マブチ 関西プラント梱包事業部 鳥取工場	輸出梱包　大型貨物梱包 （出張サービス可）	TEL 0859-39-6300 http://www.k-mabuchi.co.jp/
ヤマト運輸株式会社 山陰パッキングセンター	輸出梱包　大型梱包　運送	TEL 0859-21-7331 http://www.kuronekoyamato.co.jp/

関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

機　関　名	主　な　業　務	連　絡　先
境港貿易振興会	ポートセールス（利用助成制度）	TEL 0859-47-3905
境港管理組合	港湾施設管理	TEL 0859-42-3705
とっとり国際ビジネスセンター	貿易サポート	TEL 0859-30-3161
（公財）しまね産業振興財団		TEL 0852-22-6193
ジェトロ鳥取貿易情報センター	国際ビジネス情報の 提供･相談･企業支援	TEL 0857-52-4335
ジェトロ松江貿易情報センター		TEL 0852-27-3121